



行動規範





目次

リーダーからのメッセージ

1. はじめに 4

私たちの価値観を生きる	5
行動規範とは	6
行動規範は誰に適用されるのか？	6
行動規範の実践的な適用方法	6
模範を示して導く	7
行動規範に違反した場合の対応	7

2. どのように行動し、他者と接していくのか 8

人権	9
敬意と協力関係	10
安全衛生	11
個人情報	12
機会均等	13
差別とハラスメントの防止	13
利益相反	14
贈収賄防止と腐敗防止	15

3. 私たちの資産をどう守るか 16

経営資源および資産	17
ITセキュリティと電子情報	18
知的財産	19
帳簿および記録	19
機密情報	20
不正行為と窃盗対策	21

4. ビジネスの進め方 22

法律および業界標準の遵守	23
サプライヤーとビジネス・パートナー	24
反競争的商習慣	24
マネーロンダリング防止および制裁措置	25
グループの公用言語	26
国際貿易法の遵守	26
責任あるマーケティング・コミュニケーション	27

5. 持続可能性 29

6. 懸念事項の報告 31

懸念事項の報告	32
倫理的懸念への対応とカウンセリング	33

7. 行動規範の実践 34

8. 受領の確約と承認 35

リーダーからのメッセージ

Unifruttiグローバル行動規範をご紹介できることに大変喜びを感じております。

Unifruttiが目覚ましい歩みと歴史を振り返ると、当グループの農業業界における前向きな変革の推進とイノベーション先導へのコミットメントは揺るぎないものでした。

何十年にわたり、私たちは、責任ある業務を遂行することは私たちの未来への投資であり、組織の全メンバーの日々のコミットメントと積極的な参加を必要とすることを学んできました。私たちの行動規範はそのために策定されたものであり、私たちの日々の仕事を導き、倫理的なジレンマや困難な決断に直面したときに私たち全員を鼓舞するものです。

私たちの行動規範は、様々な状況にどのように対応するか、また、Unifruttiの創業理念や価値観にそぐわない行動を目にしたときに、どのように声を上げるかについて書かれています。

当社の行動規範への継続的な取り組みへのご賛同及びコミットメントに深く感謝します。 ” ”



ギル・アドテヴィ

Chairman of the Board of Unifrutti

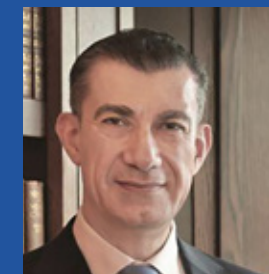
親愛なる同僚及びビジネスパートナーの皆さまへ

Unifruttiの誇り高きメンバーとして、私は当グループに

とって重要な一歩に誇りを感じ、皆様に私たちのグローバル行動規範を紹介できることを嬉しく思います。この規範は私たちの価値観に深く根ざし、私たちがこれまでに培ってきた歴史に触発され、責任あるマインドセットとビジネスへの持続可能なアプローチを明示しています。

私たちの行動規範は、私たちが事業を展開し、拡大し続けるグローバル市場において、指針としての機能を果たし、倫理的な意思決定と責任ある慣行に対する私たちの献身を反映し、私たち一人ひとりがUnifruttiの創業の理念を守るために発言することを奨励しています。これらの原則を日々の業務に適用することで、私たちはグループの遺産の管理者となり、私たちの価値観の保護と擁護に貢献します。

私たちは共に、グループが将来にわたって卓越性の代名詞であり続けるための責任を共有しています。この行動規範への継続的な献身とコミットメントは、Unifruttiの未来を共に切り開く上で極めて重要です。 ” ”



モハメッド・エルサーキー

Unifrutti Group CEO

1. はじめに



はじめに

強固な伝統と名声を有するグローバルグループとして、Unifrutti GPは、最高レベルの専門的なコンプライアンスと倫理基準を世界中の業務に適用することを約束します。そのため、当グループは、すべての取締役、管理職、従業員（以下、総称して「従業員」といいます）、および関連会社に対し、本行動規範の遵守を求めます。

本行動規範は、役割、立場、実務にかかわらず、Unifrutti GPのすべての人に適用されます。



私たちの価値観を生きる

企業価値はUnifruttiのDNAであり、当グループの事業活動の指針となる創業の原則であり、従業員の行動、日々の活動、顧客、パートナー、ステークホルダーとの関係において、従業員を鼓舞するものです。当グループの大志は、業界をリードする、最もサステナブルでグローバルなマルチ・フルーツ・カンパニーになることです。私たちの価値観が一致し、この大志を達成できるよう、当グループでは世界各地の従業員に働きかけ、私たちがこの価値観をどう感じ、どうあるべきかについて意見を求め、価値観の刷新を図る取り組みに着手しました。今後、2024年の最終四半期頃に合意した価値を発表する予定です。

行動規範とは

行動規範には、以下の最低基準が記されています。

Unifruttiのために、またはUnifruttiとともに働くすべての人に関連する倫理的な行動と期待。この行動規範は、遭遇する可能性のあるすべての問題や状況を網羅しているわけでも、そのようなことを意図しているわけでもありません。この行動規範は、社内コミュニケーションチャンネルで入手可能なグループおよび地域の方針および手順とともに読む必要があります。

グローバルに事業を展開するグループとして、私たちは現地の文化や価値観を尊重しています。Unifrutti GP各社は、これら現地のコンプライアンスおよび倫理原則に適切に対応し、模範となるために、必要に応じてさらなるガイドラインを示すことが奨励されています。これらのいずれかが当グループの原則や価値観と矛盾する場合は、コンプライアンス・リスク・サステナビリティ部門からさらなるガイダンスを得る必要があります。ただし、矛盾がある場合は、より厳格な原則を適用すべきとなります。



行動規範は誰に適用されるのか？

この行動規範は、役職、役割、地位、経験、Unifruttiとの関係を問わず、全世界のUnifrutti GP働く、またはUnifrutti GPを代表するすべての取締役、管理職、従業員（正社員、季節社員）、ビジネス関係者に適用されます。さらにUnifrutti GPは、サプライヤー、コンサルタント、ビジネスパートナーを含む第三者が行動規範の精神に則り、その原則を遵守することを期待します。行動規範は随時改訂される可能性があり、従業員の責任において、グループおよび各地域の社内コミュニケーション・チャンネルで最新版を参照してください。当グループの各メンバーは、採用時に本行動規範を承認する署名を行っていただきます。

行動規範は定期的に改訂される可能性があり、グループおよびビジネスユニットの社内コミュニケーションチャンネルで最新版を確認することは従業員の責任です。当グループの各メンバーは、採用時に本行動規範の承認書に署名しなければなりません。

行動規範内の「会社」または「グループ」または「Unifrutti」または「UG」という用語は、Unifrutti GP内のすべての会社を指すために使用されます。

Unifruttiの詳細については、当社の[ウェブサイト](#)をご覧ください。

行動規範の実践的な適用方法

行動規範は、私たちが正しい決断を下し、それに従って行動するための倫理的な枠組みをUnifrutti GPの全員に与えています。行動規範の原則を理解し適用することは、Unifruttiのすべてのステークホルダーの個人の責務です。従業員に遵守が求められる主な分野はこの行動規範に記載されていますが、このリストはすべてを網羅しているわけではありません。行動規範は、コンプライアンスに必要な主な事項を記載していますが、すべての懸念事項や義務を網羅しているわけではありません。以下の倫理的な質問は、取るべき行動が不明確な状況に対処するために有用な出発点となります：

- あなたの行動は行動規範に沿ったものですか？
- あなたの行動は合法的か、倫理的か、誠実ですか？
- あなたの行動はUnifrutti GPの価値観や方針に沿っていますか？
- 正しいと感じますか？
- 家族や友人に説明したり、社内外に公表したりすることに抵抗を感じませんか？
- あなたの行動は、あなたやUnifrutti GPにどのような印象を与えるでしょうか。また、このことが裁判で問われた場合、あなたの判断を正当化できますか？

上記の質問に対する答えが「NO」である場合、または疑問やジレンマがある場合は、社内の適切な関係者に相談するか、コンプライアンス・チームに助言を求めてください。誰に相談すればよいかわからない場合は、人事部に相談すれば、人事部が適切なコンプライアンス担当者を紹介してくれます。行動規範や当社のポリシーに抵触する、または抵触する可能性のある行動や行為が観察された場合、以下に基づき、誠意をもって報告する責任があります。



模範を示して導く

すべての従業員は最高水準の倫理的行動を遵守することが期待されています。Unifrutti GPのマネジャーとリーダーには、模範を示し、本規範の原則に沿った行動を促すことが期待されています。グループマネージャーおよびビジネスユニットのリーダーには、以下のことが求められます：

- 行動規範が全従業員に明確に伝達され、認知され、遵守されるようにする。
- 行動規範の規定の実施を推進し、倫理的な行動を奨励する。
- 前向きでオープンな議論が促進され、サポートされる透明な職場環境を維持する。
- 懸念を表明した人に対する報復を防止する。
- 従業員や経営陣が、よくわからない、または答えられない、あるいは満足度のいく対処方法がわからない質問または問題を提起した場合には、ローカル・コンプライアンス・オフィサーまたは本社コンプライアンス部門へ確認する。この場合においても、誰に相談すればよいかわからないときには、人事部に問い合わせることで関連するコンプライアンス担当者を紹介します。

リーダーシップの観点からは、グループ内のあらゆるレベルにおいて、私たちの「リーダーシップ」の理念と一致することが、この行動規範を支持し、支持するために必要な行動の重要な推進力となります。



行動規範に違反した場合の対応

行動規範および当社ポリシーに抵触する、または抵触する可能性のある行動や行為が観察された場合、本規範の「**懸念事項の報告**」の項に従って、誠意をもって報告する責任があります。行動規範に違反する可能性がある場合は、内密に、かつ慎重に調査され、確認されます。違反が確認された場合、関係する従業員やその他の利害関係者に対する懲戒処分や法的措置、あるいは関係する第三者に対する法的措置が取られる可能性があります。

2. どのように行動し、 他者と接していくのか



どのように行動し、他者と接していくのか

人権



私たちの行動規範の文脈では、公平な待遇、無差別、そして会社内だけでなく社会に与えるより広い影響の両面で、すべての個人の尊厳と権利の尊重を確保することを意味します。

Unifrutti GPでは、異なる文化のもと世界中で仕事をする中で、人権を尊重することが私たちの社会的ライセンスであり、責任あるビジネス慣行にとって不可欠であると考えています。従って、人権を尊重し、従業員だけでなく、私たちが密接に協力を得ている地域社会へも積極的に貢献することが私たちの責任です。グループとして、私たちは人権侵害を許しません。私たちのコミットメントを尊重するため、私たちはグローバルな事業活動において人権への悪影響を防止・軽減し、私たちが不注意に引き起こしたり、永続化させたりする可能性のあるそのような影響を是正するよう努めます。

私たちが尊重する人権原則には以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません：

- 結社の自由と団体交渉。
- すべての労働が自発的なものであることを保証する、自由に選択できる雇用。
- 児童労働および強制労働の禁止。
- 地域社会の尊重。

私たちは、すべての人権原則が方針と手続きに適切に組み込まれ、保護され、認証およびその他の法的要件に完全に準拠していることを期待します。さらに、果実生産者やその他のビジネス・パートナーを含むサプライ・チェー

ン全体のサプライヤーは、すべての基本的人権を尊重する方法で業務を遂行しなければなりません。

この要件には、従業員の権利だけでなく、事業によって影響を受ける地域社会の権利も含まれます。従って、サプライヤーには、その事業が人権侵害の一因とならないよう適切な管理を行い、関連するリスクを特定し管理することが求められます。

どのように行動し、他者と接していくのか

敬意と協力関係

尊重と協力は、前向きな職場文化、従業員のウェルビーイング、グループの目標達成にとって最も重要です。それがどのように示されるかに拘らず、権限や階層に関係なく、職場の規範であるべきです。Unifruttiでは、無礼な振る舞いは一切認められません。Unifrutti GPの従業員には最低限、次の以のことが求められます：

- すべての事業部門および事業所において、同僚および利害関係者に親切かつ敬意を持って接する。
- 私たちは異なる存在であるため、職場において異なる視点、スキル、才能を発揮できることを認識する。
- すべての人の貢献と意見を尊重する。他の人の意見に耳を傾け、その考えを共有する。
- 同僚に直接助言を求めたり、懸念を申し出たりすることを快く思う。
- どのような状況下でも、プロ意識を持ち、冷静さを保つ。
- 性別、年齢、民族、役職、その他任意の理由による差別、いじめ、嫌がらせのない、尊敬に満ちた公正な職場環境を推進するとともに、歓迎、礼儀、包容力を持つ。
- 言語的、非言語的コミュニケーションで敬意を示す。
- 他人の労働時間や仕事量を尊重する。
- 多様性を組織の強みとして受け入れる。
- 職場でのコーチングとトレーニングを提供する。チームメンバーの学習と能力開発を促進する。
- 個人的な批判ではなく、建設的なフィードバックを与える。

- 自分の職責に属する事柄については、正直であり、説明責任を果たす。
- コミュニケーションを行う際は、厳格かつオープンで透明性を保ち、問題を「ごまかさない」。
- 服装、伝統、宗教、行動など、現地の文化を尊重する。

上記の期待に沿わない行動に気づいた場合は、Unifruttiの価値観が完全に順守されるよう、誠意をもって発言し、報告してください。

どのように行動し、他者と接していくのか

安全衛生



農業に携わる私たちは、従業員が多くの労働集約的な活動に従事していること、また工業的なプロセスが労働上の危険をもたらす可能性があることを強く認識しています。私たちは、従業員の健康と安全を守り、現地のさまざまな安全衛生法、規制、認証要件を遵守することを強く約束します。そのため当グループでは、従業員の安全と職場環境全体を守るため、農業に適した全体的な安全衛生管理プログラムを策定し、実施することを常に目指しています。Unifruttiの全員が役割を担っており、サプライチェーン全体にわたって、安全衛生要件を遵守する責任があります。

最低限、全従業員は安全衛生方針、手順、その他の管理要件を遵守し、自分自身や他者に脅威を与えるような行動や作業をしてはなりません。従業員が示すべき行動の例としては、以下が挙げられるが、これらに限定されるものではありません：

- 研修を受けた業務を遂行すること。
- 緊急時取るべき行動や、設備／防護服の安全な使用など、様々な方針、手順、管理について確実に認識すること。

- 安全衛生トレーニングに参加し、必要事項を理解し、必要に応じて質問を投げかける。
- 実際の事故や潜在的な脅威を担当マネージャーに速やかに報告すること。
- Unifruttiの拠点および／または業務遂行中（運転を含む）に、薬物を使用したりアルコールを摂取したりしないこと。医療用に処方された薬物は、医師の指示に従って使用すること。
- 誰かがリスクや懸念を報告してくれるとは決して思わないこと。

Unifruttiのリーダーおよびマネージャーは、その責任下にある事業所における安全衛生管理システムが適切に機能するための追加的な責任を負っています。そのため、最低限以下の管理および行動が計画されていることを確認する必要があります（リストは完全ではありません）：

- 法律、規制、認証要件に準拠し、会社の方針に沿った安全衛生管理システムを確立し、維持する。
- 社内（内部監査など）または社外（当局や認証機関など）から出された勧告をフォローする。
- 危険の特定に常に注意を払い、リスクを許容可能な低レベルまで軽減する。

- 推奨事項の共有と問題のエスカレーションは、直属の上司へ行うか、本規範に記載されているスピークアップ・コミュニケーション・チャンネルを利用して行う。
- 法律やその他の要件について常に最新の情報を入手し、コンプライアンスを徹底する。
- レビューを実施し、問題、事故、ニアミス、インシデントを社内外の適切な関係者に報告する。
- 全従業員、外部委託スタッフ、訪問者が完全かつ正確な指示とトレーニングを受けられるようにする。
- 問題や要件に対処または管理するために、効果的、責任的かつ敬意を持ってコミュニケーションを図る。
- 責任を分担し、説明責任を果たす。

すべての地理的な拠点で、業界標準に準拠し、現地の労働法および規制と完全に一致することを目的とした安全衛生手順が実施されています。これらの手順を読み、理解したことを確認してください。

どのように行動し、他者と接していくのか

個人情報



当グループは、個人（従業員、顧客など）の個人データ（パスポート、医療記録、財務記録など）および情報のプライバシーと機密性を最重要視し、そのような記録および処理された情報を保護するための対策を実施しています。私たちは、このような情報が責任を持って、関連する現地の個人情報保護法にも従って取り扱われることを保証します。

個人データは当グループの個人データ保護コンプライアンス・ポリシーに従って処理され、EU一般データ保護規則（「GDPR」）の要件も満たしています。GDPRは一般的にEU加盟国に適用されるため、EUに登録されているグループ会社にも適用されます。非EUグループ会社はGDPR関連条項を相応に適用されるべきです。さらに、本方針の原則は、個人データ保護に関する国内法とともに考慮されるべきです。

情報は、関連法によって許可または要求される場合、または個人によって承認された範囲でのみ使用または開示されます。ただし、当グループは、当グループとその利害関係者の権利を保護するための調査において、適用される関連法規によって許可され、かつ調査の対象となるコンピュータ、電子通信、インターネット証跡、電話記録、オフィス、およびその他の業務領域を含む、当グループの施設および財産を検査する権利を留保することに留意してください。

Unifruttiは、以下のいずれかに該当する個人情報の収集、利用、その他の処理を行います：

- 契約またはサービスの履行。
- 法令遵守。
- 正当な利益を保護するため。
- 同意を得た場合。
- 公共の利益のために必要な場合、または公的機関の要求に従う場合。
- 個人の重大な利益のため。

関連ポリシーに定義されているように、データ侵害が発生した場合、コンプライアンス部門またはその他の担当者は、インシデントを評価し、インシデントが関連報告基準に該当する場合は、関連管轄当局に適時に通知されるようにしなければなりません。さらに、情報漏えいが個人の権利および自由に対する高度のリスクをもたらす可能性がある場合には、その影響を受ける個人に、過度の遅滞なく通知しなければなりません。

個人データ、従業員のデータ処理、従業員の権利および義務に関する詳細は、GDPRポリシー、各地域のプライバシーポリシー、および従業員プライバシーポリシーに記載されています。

どのように行動し、他者と接していくのか

機会均等

私たちは、従業員の経歴、経験、アイデアの多様性を受け入れ、尊重し、大切にする職場環境を提供するよう努めています。当グループは公正な労働文化の促進に尽力しています。すべての従業員および応募者に対して機会均等な雇用主であることは、その礎となるものです。従って、採用、研修、昇進、報酬、福利厚生、異動、教育に限らず、人事の決定については、従業員または応募者の資格、能力、スキルセット、実績のみを基準とすることを目指しています。

差別とハラスメントの防止

当グループはハラスメントを一切容認しておらず、ハラスメントに該当する行為のない職場環境を提供することに強くコミットしています。職場では誰もが尊厳と尊敬をもって扱われるべきです。職場においてハラスメントを受けない権利は、一般的に法律で保護されており、場合によっては差別として認識されます。

当グループの上司、同僚、従業員、非従業員、ベンダー、顧客を含め、従業員に対する言動、身体的行為、視覚的行為など、いかなる形態の好ましくない行為も容認されません。差別やハラスメントを報告した従業員に対する復讐的行為は、本行動規範の規定により固く禁じられています。

ハラスメントの例としては、以下のようなものが挙げられますが、これらに限定されるものではありません：

- いじめ。
- 性別、人種、性的指向、宗教、文化、障害、マイノリティグループに関して、悪意ある噂を流したり、侮辱したりすること。
- 誰かを嘲笑したり、品位を傷つけること。
- 不当な扱い。

- 過剰な負荷や絶え間ない批判によって、有能な労働者を故意に弱体化させる。
- 昇進や研修の機会を意図的に妨害することによって、個人の進歩を妨げること。
- セクシャルハラスメントには、歓迎されない身体的、言語的（例：歓迎されない陰口、ほのめかし、提案、性生活に関する歓迎されない不適切な質問）または非言語的（例：歓迎されないジェスチャー）な行為が含まれます。

どのように行動し、他者と接していくのか

利益相反

利益相反(“COI”)とは、業務上の地位や責任、個人的利益、顧客の利益が、当グループやその株主、他の顧客の利益と相反する状況を指します。COIは、当グループの業務のあらゆる分野で発生する可能性があります。(a)実際のCOI、すなわち現実に存在するコンフリクト、(b)潜在的なCOI、すなわちCOIになりうる状況が存在する、または存在する可能性がある、(c)認知されたCOI、すなわち実際にはコンフリクトでなくてもコンフリクトと受け取られうる状況が存在する、または存在する可能性があります。

実際の、潜在的な、そして認識されるコンフリクトの例としては、以下のような状況が挙げられます(すべてを網羅するものではありません)：

- 近親者が当グループのベンダー、外部農家の顧客、競合他社を務める。
- UGでの地位を利用して、友人が経営する会社に契約を発注する。
- 当グループの利益や利害関係者を犠牲にして、個人的な利益を得るためにビジネスチャンスを得ること。
- 贈答品や便宜供与など、不適切な個人的利益を受け取ること。
- 当グループと取引を行う、または行おうとする企業、あるいは当グループと競合する企業と直接的または間接的な利害関係を持つこと。

- 必要な許可を得ずに、他の組織のために仕事を引き受けたり、サービスを提供したりすること。
- 個人的な利益のために(UGが考慮すべき)企業機会を追求する。
- 独立企業間以外の取引を行う。

当グループは、全従業員、パートナー、関連会社に対し、誠実かつ正直に行動し、透明かつ倫理的に取引を行うことを求めます。したがって、UGの全従業員は、利益相反が発生する可能性がある場合、必要なすべての行動を取らなければなりません。実際の利益相反、潜在的な利益相反、または利益相反と思われる事例は、速やかに特定し、管理し、特定次第直ちに開示しなければなりません。

このプロセスを支援するため、当グループは利益相反ポリシーを発行し、グループ事業全体に適用されるCOIの特定、評価、管理、登録の原則を定めています。UGは、UGとその様々な利害関係者／第三者との間で、UGの事業運営と相互作用の文脈の中で、実際の、潜在的な、または認識されるCOIのいずれかを特定し、評価し、管理し、発生を防止するために、従うべき合理的な管理上および組織上の措置を講じます。

そのような措置の例としては、職務分掌、4つの目によるレビューの原則、潜在的または実際のCOIにつながる可能性のある取引に対する独立企業原則の適用、関連当事者取引に関する方針、取締役会レベルでのCOIプロセス、情報へのアクセスに関する「中国の壁」、COI宣言および承認プロセス、ならびにCOI登録簿などの適切な統制が含まれます。

最低限、すべての取締役、経営陣、従業員は、COIポリシーの原則に従い、自分、他の従業員、その他の当事者に関連するCOIを申告し、毎年のCOI申告書を正直かつ透明性をもって提出しなければなりません。

どのように行動し、他者と接していくのか

贈収賄防止と腐敗防止



UGは倫理的な行動に徹し、地理的な拠点や事業運営において、誠実さと透明性をもって公正に事業を行います。さらに、贈収賄と汚職は犯罪行為であり、UGは贈収賄と汚職行為に対して「ゼロ・トレランス」のアプローチをとっています。したがって、賄賂の授受は固く禁じられています。

汚職とは、私利私欲のために委託された権力を乱用することである。贈収賄とは、公的または法的な義務を負う個人の行動に影響を与える手段として、有価物（贈答品、金銭、融資、手数料、報酬または特権、割引、旅行、その他の現物給付など）を申し出たり、与えたり、勧誘したり、受け取ったりすることである。この種の行為は、客観的に処理されるべき事柄を、意思決定者の私的利益に最も適う方法で管理することになる。

贈収賄と汚職に関するすべての関連法を遵守することは当社の方針であり、当グループはグループ贈収賄防止・汚職防止方針を維持しています。UGの全社員は、その原則を理解し、従う義務があります。これらの原則には、以下のガイドラインが含まれます：

- 贈答品や接待を受けたり提供したりする場合は、賄賂として使用される可能性があるため注意が必要です。贈答品や接待の授受は、相応かつ合理的でなければならず、また誠意をもって行われなければならない。贈答品の価値は、取るに足らないもの、妥当なもの、または販促品であるべきです。
- 返礼品や汚職を目的とした贈答品は受け取らないこと。
- 当グループの贈収賄防止および腐敗防止方針に従い、贈答品について開示し、社内の承認を得ること。現地で最新の贈答品登録簿を維持しなければならない。
- いかなる寄付や後援も、UGの方針に基づく上級管理職の承認なしに申し出たり、行ったりすべきではなく、また現地の法律や倫理的慣行を遵守すべきである。
- 本規範の「**懸念事項の報告**」の項に従って、実際の贈収賄または汚職のいを報告すること。

3. 私たちの資産をどう守るか



私たちの資産をどう守るか

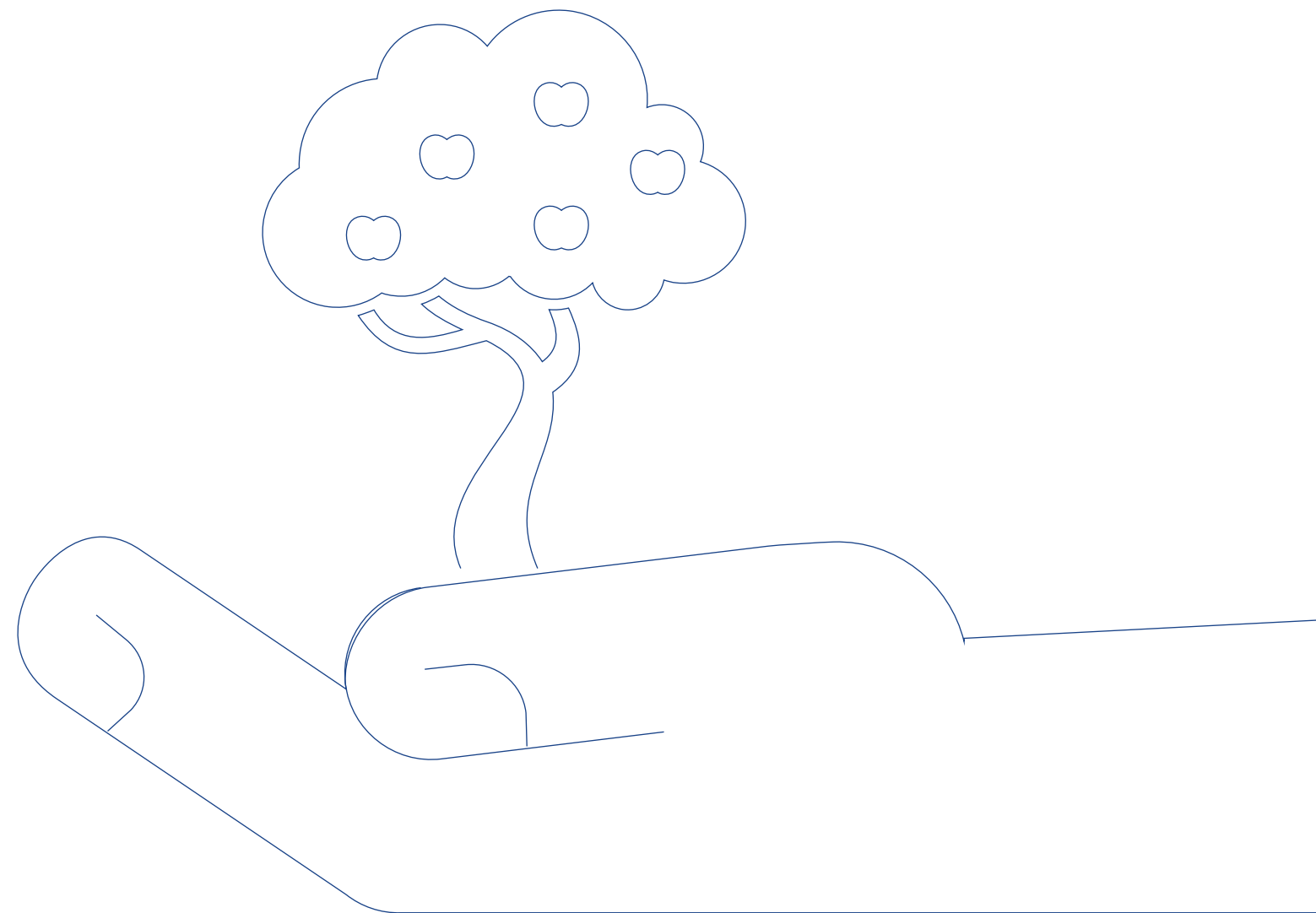
経営資源および資産



すべての取締役、経営陣、従業員は、職務上、当グループの資産を盗難、破壊、その他の損害から守ることが期待されています。資産とは、当グループが所有するすべての資産（在庫、コンピューター／ノートパソコン、設備、ソフトウェア、施設、知的財産、消耗品、資材を含むがこれらに限定されない）を指します。

従業員は、当グループの資産やリソースの個人的な利用を最小限に抑え、利用が必要な場合には判断を下す必要があります。例えば、UGの業務と無関係な目的で、グループの電話、ノートパソコン、施設、またはグループの従業員の時間を使用することが挙げられます。

不適切な行為はすべて、本規範の「**懸念事項の報告**」セクションに記載されている報告手順に従って報告しなければなりません。当グループは、窃盗、詐欺、横領、または当グループの資産の悪用があった場合、最も厳しい懲戒処分が課されることになるため、このような事例を非常に深刻に受け止めています。



ITセキュリティと電子情報



当社グループの全従業員は、最高水準の情報セキュリティを遵守することが期待されています。これは、すべての従業員が以下の事項を遵守することを意味します：

- 情報資産（パーソナルコンピューター／ノートパソコン、タブレット、携帯電話、その他のデバイスなど）を、許可された目的のみに使用し、以下のポリシーと手順に従うこと。当グループおよび適用される法令を遵守すること。当グループの情報技術やネットワークは、犯罪行為、国家安全保障への脅威、武器や関連技術に関する情報の購入/共有、または個人、企業、商品/サービスの評判を意図的に傷つけるために使用してはならない。
- 当グループの情報技術（ソフトウェア、ノートパソコン、その他機器）を個人的な業務に使用しない。
- 適用されるすべてのITおよびITセキュリティポリシーと手順を遵守する。
- 必要な情報セキュリティ研修と意識向上プログラムを完了し、以下を含む最新の情報セキュリティの脅威とベストプラクティスについて常に最新の情報を得る。IT機器、電子メール、リンク、添付ファイルの使用。企業の情報技術が侵害された場合（例：ウイルス／トロイの木馬、ハッキングの試み、フィッシング、パスワード漏えい）、あるいはこの種の侵害の疑いがある場合は、直ちにIT部門に報告すること。

- 情報セキュリティインシデントまたは違反の調査および解決において、情報セキュリティチームおよびその他の関係者と協力する。
- 当グループが発行したガイダンスに沿ったパスワードを使用して電子機器を保護し、ログイン情報（ユーザー名とパスワードなど）を他人と共有しない。
- ファイアウォール、アクセス制御、ウイルス対策、ログ、その他を含むがこれらに限定されないセキュリティ制御を無効にしたり、変更したり、迂回したりしないこと。USBやSDのような個人用リムーバブルデバイスの使用は、厳密な必要性がある場合を除き、承認とウイルス対策チェックの上で禁止されています。
- リムーバブル機器やその他のIT機器は、営業時間中および営業時間外、ホテル滞在中、車内、第三者の施設内、旅行中など、使用していないときは、安全な場所に保管し、放置せず、施錠すること。

さらに、アクティブなセッションを終了したり、強力なパスワードで機器を保護したり、アプリケーションからログオフしたり、ネットワークサービスからログオフしたりするようにしましょう。

- 電子メールは業務目的のみに使用し、電子通信を使用する際は注意する。特に：

- I. 差出人不明のメールや通常とは異なるメールは慎重に扱うこと。
- II. 不審な添付ファイルは開かないこと。
- III. メールボックスは整理整頓し、不要な文書や添付ファイル、電子メールを削除しなければならない。
- IV. 会社のメールアカウントを使ってチェーンメールに参加しないこと。
- V. 会社のEメールを違法な目的で使用しないこと。

- 当グループのコンピュータに保存されているすべての情報は、当グループの財産です。
- 取締役、管理職および従業員は、ライセンスされていないコンピュータファイルまたはソフトウェアをインストールまたは使用することは禁じられています。
- グループによって行われる。インストールする場合は、IT部門に依頼する必要がある。承認されたソフトウェアは、ライセンスまたは著作権契約、および当グループが発行するITポリシーと指示に従って使用する必要があります。
- 人工知能を倫理的に配備し、利用する。

すべての従業員は、自らの情報セキュリティおよび機密保持の行動と、その行動または不作為の結果に責任を負います。

私たちの資産をどう守るか

知的財産

商標や顧客関係を含むUnifruttiの知的財産は、Unifruttiの従業員が職務遂行の一環として努力した成果物です。Unifruttiは、現在及び将来の知的財産を、適切な許可及びライセンスなしに第三者が使用することを禁止します。社内の関係者は、アクセスできる知的財産を認識し、認可を受けた上で適切かつ丁寧に使用しなければなりません。

法的要件に従い、従業員が職務遂行中に全体的または部分的に作成した作品は、Unifruttiの資産となります。知的財産は常に開示され、関連するUnifruttiグループ会社の名前で登録されなければなりません。

帳簿および記録

当グループの株主に継続的な価値を提供するため、記録保存に関連する法律を遵守し、企業記録および文書を慎重かつ真摯に維持することを約束します。訴訟問題や調査に関連するものも含め、文書や記録を修正したり、隠したり、破棄したりすることは許されません。

財務および税務記録

当グループの財務および税務記録は、当グループの会計・財務方針および手続きに基づき、会計システムにおいて完全、適時かつ正確に維持されるとともに、適切な文書によって裏付けられなければなりません。

このような記録は、適用される国内および国際的な会計／報告基準および法律に従って作成され、保持されなければなりません。すべての取引（重要性にかかわらず）および会計方針の変更は、適切に承認され、実行され、記録に計上されなければなりません。

従業員は、内部/外部監査、調査、連絡、または報告のための財務または税務情報が適時に伝達され、正確かつ完全であることを保証する責任があります。

税法は尊重され、支払いは税法に定められたとおりに行われます。当グループは脱税に対してゼロトレランス・アプローチをとっています

私たちの資産をどう守るか

機密情報



機密情報とは、Unifrutti が公表しないことを選択した情報のことで、企業秘密、知的財産、生産、財務結果、株主情報などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。ただし、これらの情報は職務遂行中に従業員が入手する可能性があります。当グループの全従業員は、秘密情報または非公開情報について、近親者、友人、その他いかなる人物とも話し合ったり、共有したりすることは固く禁じられていることに留意しなければなりません。

取締役、経営陣、従業員は、職務上知り得たすべての情報（物理的、電子的、口頭によるもの）を把握し、守秘義務を守ることが期待されています。情報は、業務上の義務を果たすために「知る必要がある」場合にのみ共有されなければなりません。これを逸脱するのは、開示が書面で承認されているか、法的に義務付けられている場合のみです。

機密情報を従業員の机の上に放置したり、会社のシステムなどに無防備に放置してはなりません。その代わりに、完全に保護されるか、グループの敷地内の指定されたキャビネットに施錠され、権限を与えられた関係者のみがアクセスできるようにしなければなりません。同様に、機密情報を権限のない社内外の関係者と協議してはなりません。

社外との情報共有の原則については、「責任あるマーケティングとコミュニケーション」の項も参照のこと。

Unifruttiでは、機密情報を第三者と共有する前に、どのようなレベルのビジネスにおいても、秘密保持契約（NDA）の締結を義務付けています。社内または社外の弁護士によって作成された、十分に承認されたNDAが使用されるべきです。事前に承認されたテンプレートは法務部またはコンプライアンス部から入手することができ、契約や状況の状況を反映するために必要であれば調整する必要があります。

Unifrutti は、第三者から提供された機密情報を尊重します。従って、Unifrutti の従業員、Unifrutti のサプライヤー、顧客、従業員、代理人、コンサルタント、その他の関係者との間で共有される非公開情報は、法律及び契約上の要件に基づき保護されなければなりません。

インサイダー取引

インサイダー取引全従業員は、資本市場とインサイダー取引に関する原則と規制も遵守しなければなりません。インサイダー取引とは、公開されている投資/証券について非公開情報を持つ者が、その証券を購入、保有、売却することです。

UGの社員は、UGで働くことで、そのような非公開情報（すなわち「内部」情報）を入手し、他の市場関係者よりも不当な優位性を得る可能性があります。このような行為は固く禁じられています。

私たちの資産をどう守るか

不正行為と 窃盗対策



Unifrutti は、ステークホルダーに対して誠実に行動することを要求し、内部および外部の詐欺に対してゼロトレランスのアプローチを採用しています。内部詐欺は、内部関係者である従業員、経営陣、または役員によって、または内部関係者と協力する第三者によって、グループ内で実行される場合があります。詐欺行為、財産の不正使用、規制、法律、またはグループのポリシーを回避しようとする行為は、グループに損失をもたらします。

外部詐欺は、顧客、サプライヤー、ハッカーなどの第三者によって実行されます。従って、詐欺を意図した行為、財産の不正使用、法律の回避によって損失が発生します。

当規範で禁止されている行為の多くは不正行為に該当する可能性があり、これには、当グループの資源の不正流用、記録の改ざん（財務上および非財務上の両方、例えば生産記録、安全衛生記録など）、第三者に対する当グループの意図的な虚偽表示、内部プロセスの回避、会計不正、贈収賄、第三者への機密情報の開示、不適切な金銭の取り扱い、記録の破棄などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

倫理的行動は、すべての拠点においてUGの企業文化に組み込まれるべきであり、強力な内部ガバナンスと統制システム（4つの目の原則や不正防止プログラムなど）とともに、強力な「トップの姿勢」が促進されなければなりません。

当グループは、すべての利害関係者がその原則に従うべき不正防止方針を定めています。

本規範の「**懸念事項の報告**」セクションに記載されている報告手順に従い、不正行為や窃盗の事件や疑いが確認された場合、直ちに報告することは、すべての人の責任です。

4. ビジネスの進め方



法律および業界基準の遵守



Unifrutti は、事業展開する国の法令および業界標準を遵守します。私たちが遵守を目指す法律、規制、基準は多岐にわたります：

- 雇用法
- 環境、衛生、安全に関する法律
- 食品安全法
- 国際貿易規制
- 贈収賄および汚職に関する法律
- マネーロンダリング防止法
- 税制
- 直接的または間接的に適用される認証および業界標準

Unifrutti では、個人的な利益のため、またはグループのために行われるいかなる違法行為も容認しません。取締役、経営陣、従業員は、適切な法令を遵守することを約束しなければなりません。各自が自分の職務に適用される法的要件およびコンプライアンス要件を認識し、これらに厳格に従わなければなりません。

具体的には、すべての従業員は以下のことをしなければなりません：

- Unifrutti のコンプライアンス・フレームワーク・ポリシーおよび各自の業務に関連するポリシー/手順に従い、コンプライアンス要件を特定し、最新の状態を維持する。
- 担当業務において適切なプロセス、方針、手順、統制を実施することにより、グループの方針、法律、認証、その他の要求事項の遵守を確保する。
- 必要と判断される場合、コンプライアンス関連事項に関してグループまたはビジネスユニットのコンプライアンス部門に助言する。
- 実際のコンプライアンス上の問題または潜在的なコンプライアンス上の失敗をグループまたはビジネスユニットのコンプライアンス部門に報告する。

コンプライアンス責任の管理およびガバナンスのために、当グループは、全従業員およびグループ会社が最低限遵守すべきUnifrutti コンプライアンスフレームワークポリシーを発行し、維持します。さらに、コンプライアンス部門は、該当するコンプライアンス規制当局および管轄当局との対応、支援、対話のための中心的な窓口となります。

品質および製品安全基準の遵守

商品の高品質を確保することは、Unifrutti の重要な目標のひとつです。私たちは、お客様の期待に応え、それを上回る最高の品質と商品安全基準を遵守することを目指しています。これを達成するために、私たちは常に私たちが事業を行っているすべての管轄区域の関連する食品安全法を遵守しています。この目的のため、私たちは様々な認証 (Global G.A.P.など) の原則と要件に従って業務を行い、健康的で高品質な新鮮な果物を一年中お客様にお届けしています。

私たちは従業員を教育し、サプライヤーを監視することで、要求される商品の安全性と品質基準を確実に満たし、常に改善しています。当社の品質システムの方針と手順を遵守することは、各従業員の責任です。

私たちは、従業員が商品の安全性と品質に対するリスクに注意を払うことを期待しており、そのようなリスクが確認された場合はいつでも、即座に対応できるよう、ライン・マネジャーに報告するよう求めています。

ビジネスの進め方

サプライヤーと ビジネスパートナー



Unifrutti では、当社グループの価値観を共有する倫理的で法律を遵守するビジネスパートナーを確実に選択するために、サプライヤーやビジネスパートナーの選択において適切な判断を示しています。そのため、ビジネスパートナーには、現地の法律で定められた法定労働年齢に満たない者を雇用しないこと、差別的な行為を行わないこと、適用される環境法、衛生法、安全法を遵守することなどが求められます。同様に、私たちは以下を目指します。

倫理的で責任ある業務遂行に対するサプライヤーやその他のビジネス・パートナーの期待に常に応えること。そのため、私たちは事業を展開する各国の関連するすべての競争法を遵守することを目指しています。

サプライヤーは、調達方針の原則に基づき、公正かつ厳格に選定されます。当グループの調達方針は、以下の調達ルールの概要を定めています。

物品およびサービスの購入、調達プロセスの透明性、公正性および説明責任の確保、ならびに調達されるサービスおよび製品の価値および品質の向上。新たな購入を検討する際には、本方針の原則に従わなければならない、いかなる場合においても、不必要、過剰、または適切に承認されていないものであってはなりません。

これに関して確認された不正行為は、本規範の「**懸念事項の報告**」セクションに記載されている報告手順に従って、できるだけ早く報告しなければなりません。

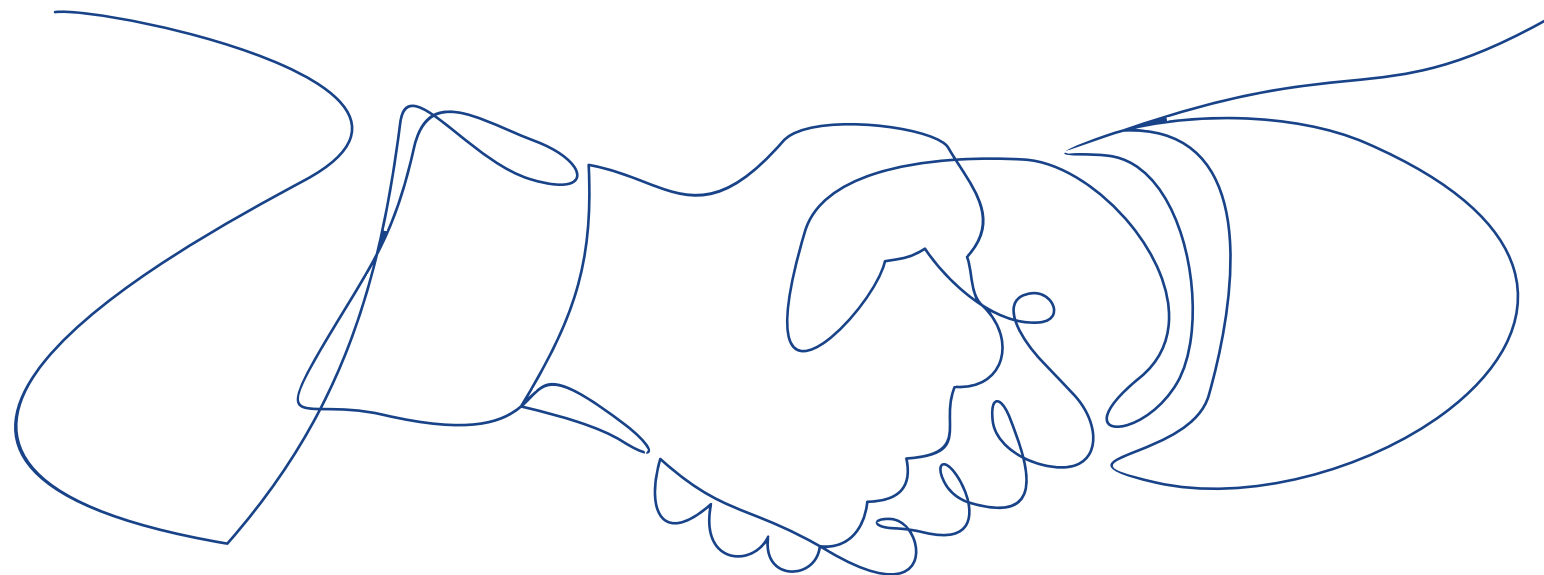
反競争的商慣習



取締役、経営陣、従業員は、競合他社と価格やコストのような機密性の高いグループ情報を協議するような行為を厳格に避けるよう注意しなければなりません。当グループは、価格の固定、販売数量の調整、販売先の分割に関する競合他社との合意など、反競争的行為やその他の非倫理的行為に関与しません。

販売地域の変更、類似の顧客に異なる価格を請求すること、または原価を下回る製品価格を設定すること。当グループは、取締役、経営陣および従業員が事業活動を行っている国において適用される法律および規制を遵守しています。

従業員は、疑問がある場合、法律またはコンプライアンスに関する支援を求めるべきです。



マネーロンダリング防止 および制裁措置



マネー・ロンダリングとは、犯罪収益の違法な出所を隠すための処理である。犯罪者は、資金源を偽装したり、様々な取引に関与したり、形態を変えたり、注目を集めにくい場所に資金を移動させたりすることでこれを行います。UGは、会社および従業員がマネーロンダリング活動に従事することを禁止し、適用されるAML法に従い、社内外の関係者による実際のマネーロンダリング活動または潜在的なマネーロンダリング活動に注意を払うことで、合法的に業務を遂行することを義務付けています。

UGは、最低限かつ業界相応として、社内のすべての主要な利害関係者に以下のことを期待します：

- 主要顧客、外部農家、ビジネス・パートナー、その他の主要サプライヤーを知るために、徹底したデュー・デリジェンス・プロセスを実施すること。これは、マネーロンダリング行為を抑止し発見するために、私たちの業界と記録に見合った適切なKnow-Your-Client (「KYC」) とKnow-Your-Supplier (「KYS」) 手続きを実施することを意味します。
- レッド・フラッグ (すなわち、不正行為の疑いのある兆候) を発見した場合は、デューデリジェンスを強化する、および/または、さらなる支援が必要な場合は、関連する管理部門に直ちに報告すること。例をいくつか挙げると (これらに限定されるものではありません)：

- ◇ 第三者名義での支払いを要求するサプライヤー。
- ◇ 別の第三者名義での支払いを要求するサプライヤー顧客やサプライヤーが通常の取引過程や取引条件以外で行う支払い。
- ◇ 多額の現金や複数の口座からの当社グループへの支払い、及び取引関係のない第三者からの現金の受領。
- ◇ 独立企業間取引によらない貸付／取引など。

- 信頼できるパートナーと協力し、透明性のある商取引のみを行う。
- 取引に使用された資金の出所を把握し、不規則または疑わしい活動を報告する。
- 疑問があれば、その分野の専門家に相談すること。

原則として、果物や野菜は (人道的原則の一環として) 経済制裁の対象とならない製品の一つであるにもかかわらず、各従業員は常に真摯に行動し、取引が制裁リストに含まれる人物など、さらなる制裁規則と関連する可能性があるため、関連するリスクについて注意を喚起する必要があります。制裁は、国、地域、領土、政府だけでなく、個人、事業体、船舶などにも適用されます。

グループとして、私たちは適用されるすべての制裁を遵守することを目指しており、従業員はグループの制裁方針を遵守しなければなりません。疑問があれば、コンプライアンス部門または法務部門に積極的に問い合わせてください。

ビジネスの進め方

グループの 公用言語



私たちは国境を越えて活動する多国籍グループであり、現地の文化や言語を尊重し、包括的かつ透明性をもって協力しています。私たちは、言語がグループ全体および社内外の利害関係者間の強固なコミュニケーションを可能にする重要な要素であることを認識しています。この観点から、当グループの公用語は英語です。英語は、経営報告、グループの方針、グループのデジタル・チャネルや資産（グループのウェブサイトなど）を通じたコミュニケーションなど、国境を越えた社内外の正式なビジネス・コミュニケーションの一環として使用されることが期待されています。

多くの従業員にとって英語は第二言語であるため、習熟度が要求水準に達していない可能性があることを認識しています。言語的多様性と地域文化を尊重する包括的な雇用者として、また、英語の十分な上達と習熟を保証するために、私たちは、地理的な境界内または境界を越えて積極的に協力する必要がある職務に就く従業員が、言語サポートレッスンに参加したり、関連ツールを利用したりできるようにすることを目指しています。

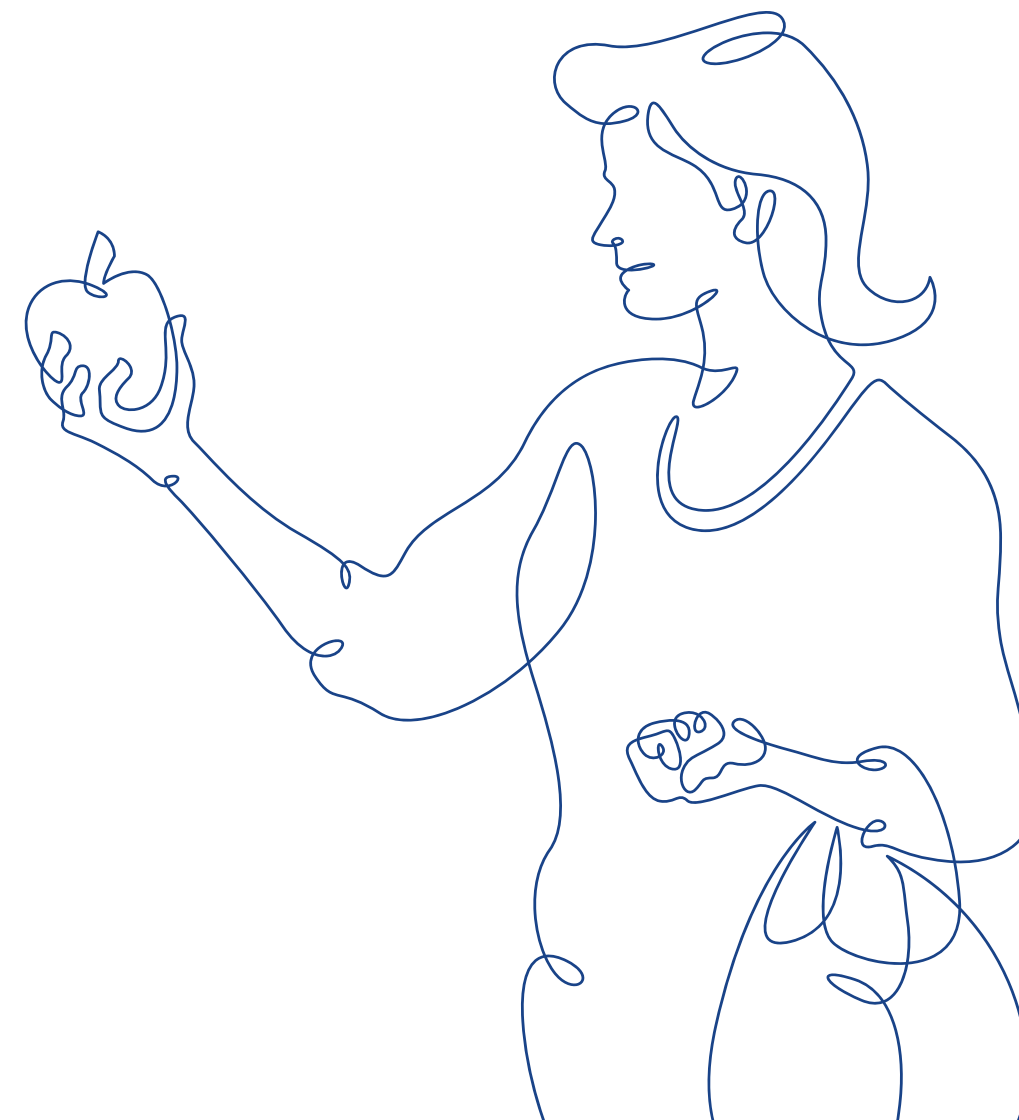


国際貿易法の順守



さらに、業務上適用されるところであればどこでも、従業員は国際貿易に影響を与えるすべての適用法令を認識していなければなりません。サプライヤーからの製品の出荷、輸出、輸入の際には、これらを考慮しなければなりません。このような法律には、反テロ法、貿易制限や制裁の可能性、輸出規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

何が違反にあたるか疑問がある場合は、指導を受けるべきです。



ビジネスの進め方

責任あるマーケティング・コミュニケーション



マーケティングとコミュニケーションは、私たちが一般の人々と交流し、Unifruttiが外部からどのように認識されるかを決定する方法です。企業ビジョンに触発され、価値観に導かれた私たちは、責任あるマーケティングとコミュニケーションの実践がもたらす力とポジティブな結果を信じています。

マーケティング

グループマーケティング・コミュニケーション行動規範は、世界中のすべてのUnifruttiのマーケティング活動およびコミュニケーションに適用される最低限のグローバル基準を記述したものです。これらは、ブランディング、パッケージングとデザイン、リサーチと開発、広告と販売、マーチャンダイジング、パートナーシップ、そして社内外を問わずあらゆるチャネルにおけるあらゆる形態の広告を対象としています（ただし、これらに限定されるものではありません）。

以下のマーケティングとコミュニケーションに関する原則は常に守るべきです：

- Unifruttiのマーケティングガイドライン、基準、および適用される法律を遵守すること。
- 当社グループとその製品について、真実、正確、かつ透明性をもって説明し、関連する場合はいつでも技術的特徴や栄養情報を提供すること。

- パートナーや顧客が十分な情報を入手できるようにする。
- 新製品開発、マーケティング活性化、パッケージング、コンテンツのリサイクルなどの分野で、環境への影響に留意する。
- 文化、伝統、多様性を常に保護し、選択・表現の自由を尊重し、良識あるコミュニケーションを行う。
- 欺瞞的または不明瞭なメッセージを使用したり、誤解を招くような方法でコミュニケーションを変更したりしないこと。
- 科学的情報や語彙を誤用して、科学的妥当性や独自の健康効果を偽って示唆しないこと。
- 当社のブランドや製品を、宗教、国籍、文化、性別、人種、性的指向、年齢、障害、マイノリティグループを不快にさせるようなイメージ、主張、キャラクターと関連付けないこと。
- Unifruttiは、暴力、虐待、ポルノ、または物議を醸すような行為を助長することで知られる団体と関連付けたり協力しないこと。

外部コミュニケーション

メディア、利害関係者、投資家、社外関係者とのコミュニケーションは、協調的なイメージを構築・維持し、消費者の目から見たUnifrutti・ブランドと顧客のグループに対する認識を強化するために不可欠なツールです。対外広報方針は、Unifruttiの公式スポークスパーソン、代表者、従業員が、Unifruttiを代表してメディアとどのように対話し、コミュニケーションを行うか、またはグループに関する公開討論にどのように関与するかに関する原則を定めたものです。対外的なコミュニケーション活動においては、常にこのポリシーが参照され、その原則が適用されるものとします。全体として、従業員および役員は、ブランドの評判、グループ全体、またはUnifruttiの関連会社およびパートナーに対する自分の言葉の影響を常に考慮しなければなりません。リスクが顕在化するのを防ぐため、従業員は当グループを代表して、許可なく社外の関係者とコミュニケーションをとることを避けなければなりません。同様に、財務、商業、または経営上の業績に関する将来の見通し情報を提供すること（コミュニケーション部門または議論中の特定のトピックに関する権限を有する指定スポークスパーソンと事前に別段の合意がある場合を除く）、または機密情報を明らかにすることは禁じられています。

ビジネスの進め方

責任あるマーケティング・コミュニケーション



デジタル・ソーシャルメディア

Unifrutti として、私たちはUnifrutti ファミリーのメンバーが私たちのブランドの大使として行動することを奨励し、それゆえオンラインのUnifrutti コミュニティに積極的に参加します。同様に、デジタルメディアやソーシャルメディアの不適切な使用に関連するリスクや、これらのメディアプラットフォームにおける当社グループの評判とブランド価値を保護する必要性も認識しています。

Unifrutti ファミリーの大切なメンバーとして、Unifrutti の社外コミュニケーションポリシーと責任あるマーケティングコードを熟知し、常に適切な表現を使用し、イメージや評判、グループ内外の商業的関係を保護し、損なわないよう留意願います。

また、全従業員に対し、グループ内の事項やその他の非公開情報を共有しないこと、オンライン上で論争に関与しないこと、個人的および職業的なプロフィール上のコンテンツやコメントにおいて、ステレオタイプ、一般化、攻撃的な行動、あらゆる形態の人種差別や差別の助長に言及しないことを要請します。



5. 持続可能性



持続可能性＝サステナビリティ

農業に携わるグループとして、サステナビリティは価値創造の重要な源泉であり、ビジネスを可能にする重要な要素です。そのため、私たちは、持続可能な実践がUGの営業許可証となる一方で、私たちのすべての行動に持続可能性の視点を入れることを常に目指しています。私たちは、世界中の従業員やビジネス・パートナーが情熱と献身を持って働き、持続可能な農業とUGのサステナビリティ・ビジョンの実現に貢献することを期待しています。UGのサステナビリティ・ビジョンとESG目標の達成に貢献し、UGのステークホルダーのため、そしてより良い世界のために価値を収穫することを期待しています。

UGのサステナビリティ戦略は、ESG(F)の頭文字をとった以下の柱に重点を置いています：

- 環境 - 環境の管理者となり、資源の責任ある利用と自然環境の保護に取り組む。
- 社会的 - 安全で帰属意識の高い文化を維持し、人々と地域社会を向上させる。
- ガバナンス - 持続可能なパフォーマンス（財務および非財務）を常に追求し、持続可能な開発マインドを持つ多様なリーダーを育成する。
- 安全で栄養価の高い果物 - 健康的で栄養価の高い果物を提供する。

また、当グループは国連の持続可能な開発目標にも賛同しており、より良い世界のためにグローバルな影響力を発揮していきます。

これらの目標をサポートするために、UGは従業員、ビジネスパートナー、主要な利害関係者に、最低限以下のことを求めます（これらに限定されるものではありません）：

- グループのESG方針および現地のサステナビリティ関連方針と手続きを遵守する。
- 責任ある市民となり、UGのサステナビリティ・ビジョン、戦略、選択した国連SDGs、主要な戦略的コミットメントを支持する。
- 環境保護に関して適用され、発展する法令や国際基準の下で行動する。- つまり、持続可能な考え方をもち、サプライチェーン全体の業務慣行を改善する機会を常に求めて努力し、持続可能性を主要な商業ツールとして使用し、環境への悪影響を最小限に抑え、循環経済の原則を適用し、水、土地、植林地、土壌などのUGの天然資源を保護するために継続的な改善を行う。
- 社会原則と法律を遵守し、事業を行う地域の人々やコミュニティの育成に貢献する。
- 健康と安全を守り、現在または潜在的なリスクを報告する。
- 持続可能なパフォーマンスと革新的なアイデアを常に追求する。
- 持続可能性を日々の職務に取り入れる。
- 常に健康的で栄養価の高い果物の栽培に貢献する。
- 持続可能性の原則を経営判断に反映させる。
- 持続可能な農業のために従業員を支援する、または従業員と提携する。
- ESG原則を重要な商業的推進力として活用する。
- UGのサステナビリティ原則の不履行、環境およびその他の関連法および原則の違反に関する事件または疑いを報告する。

全体として、Unifruttiの社員は、持続可能で倫理的かつ透明性のある方法で職務を遂行する責任を負っています。サプライチェーンのESGパフォーマンスは、当社の目標を達成するための重要な要素であり、従業員は職務遂行中にESG要素を考慮する必要があります。

6. 懸念事項の報告



Unifrutti は、不正行為、法的義務の不履行、安全衛生上の違反、そのような事項の隠蔽など、グループ行動規範に対する懸念事項や既知または疑いのある違反について、従業員が発言し、報告することを奨励しています。報告された案件は、調査プロセスをより良くサポートするため、匿名ラベルを付けないことを奨励する場合、可能な限り内密に管理されます。実際の不正行為、疑われる不正行為、潜在的な不正行為は直ちに報告されるべきであり、規範違反を報告しないことは、規範違反とみなされる可能性があります。

従業員が事例を報告するために利用できる様々なチャンネルがあり、チャンネルを選択する際には、違反または懸念の深刻さ、事件の関係者、内部告発者の快適なレベルを考慮する必要があります。報告は誠実に行われなければなりません。違反／報告は、法律で義務付けられている場合を除き、公開してはなりません。

これらのチャンネルは以下の通りです：

マネジメント

懸念事項や心配事については、気の合う人に相談することができます。その対象は、あなたの直属の上司でも、所属事業部門の他のマネジャーでも、事業部門CEOでもかまいません。

人的資源

事業部門の人事責任者またはグループ人事最高責任者に連絡することができます。

コンプライアンス

質問や懸念事項については、コンプライアンス・チームに直接連絡することができます。当グループの方針およびNDAは、HOコンプライアンス・シェアポイントでも確認できます。各地域のコンプライアンス、リスクおよびサステナビリティ・オフィサー、またはグループ・コンプライアンス・チームに、Eメール、電話、または面談のリクエストで連絡することができます。

内部告発ルート



コンプライアンス内部告発チャンネルは、上記のいずれかを利用することに抵抗がある場合に、懸念事項を報告するための代替的で機密性の高い方法を提供します。報告された案件は、当社の内部告発およびその他の関連ポリシーに沿い、独立かつ秘密厳守で管理されます。通報者が希望する場合、匿名での通報も可能です。通報は、事業部門の内部通報チャンネル、または以下のグループ内部通報チャンネルのいずれかを使用して行うことができます：

○電子メール: Speakupline@unifrutti.com

○告発者による電話または面談による口頭での申し出: (+357)-22311575 またはお近くのフリーダイヤル: チリ: +56 44 205 6637/南アフリカ: 080 099 0289/フィリピン +63 919 170 0363

○Unifruttiグループ チーフコンプライアンス、リスク&サステナビリティオフィサー宛に郵送。-Compliance and Risk department, UNIFRUTTI GLOBAL MANAGEMENT LLC - 9th Floor, AZZumurrud Street, Centro Capital Centre, Abu Dhabi, United Arab Emirates-

○オンライン <https://unifrutti.ipm.ae.starcompliance.com/#LANDING>

倫理的懸念への対処と カウンセリング



従業員から提起された疑問や問題を解決するために、グループコンプライアンス・リスク・サステナビリティ部門、人事部門、または各地域のコンプライアンス・リスク・サステナビリティ担当役員に連絡することがあります、例として：

- 適切な法律や規制（例えば、反競争法、国際取引法、腐敗防止法、環境規制など）および行動規範の実施と遵守に関するガイダンスが必要な場合。
- 特定の行為が利益相反に該当するかどうかについて指導が必要な場合。
- 特定の行為が利益相反に該当するかどうかについて指導が必要な場合。
- 当社グループの経営資源の適切な使用に関する指導が必要な場合。
- 贈収賄、贈答品、接待の問題に関する説明が必要な場合。



7. 行動規範の実践

グループおよび各地域の人事チームとCEOは、行動規範が各地域で確実に実施され、グループの全従業員が行動規範に署名し、毎年これを承認する責任を負います。記録は現地で保管され、必要に応じて内部または外部のレビューに供されます。

当グループの行動規範に違反するリスクを低減するために、実施されている統制やその有効性は、内部監査によって定期的に見直されます。



8. 受領の確約と承認

当グループは、この行動規範が従業員に十分に理解され、適切に認識されるよう、組織的な取り決めと十分な研修を提供します。そのような認識の例を以下に示します。

私は、Unifruttiから提供されたこの行動規範の条項を読み、理解しました。

私は、当グループの方針、価値観、倫理基準を遵守し、職務遂行に関連する規則、基準、ベストプラクティスを学び、履行することを常に目指します。

私は、行動規範の規定に違反した場合、犯した違反の重大性に応じた懲戒処分を受ける可能性があることを理解しています。

私は、行動規範への同意は、それ自体が雇用契約を構成するものではなく、雇用の権利や利益を付与するものでもないことを認めます。

私は、行動規範に明記されている事項などに関する質問があれば、適切な個人／部門と速やかに協議することを理解し、同意します。

署名:

氏名:

役職:

所属部署名:

日付:



